

2020年11月29日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第34号(通算3211号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

かみさま つく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



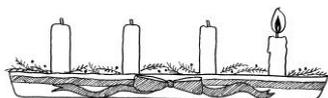
ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書 3:5-6)



待降節 第1主日礼拝

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。**インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

前奏 黙祷

招きの詞 **マタイによる福音書** 24章 42, 44節

賛美歌 242番「主を待ち望むアドヴェント」(1節) (©JASRAC)

クランツ点灯のことば **点灯者**

聖書 **ローマの信徒への手紙** 13章 8-14節

お祈り
賛美歌 218番「日暮れてやみはせまり」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ 「闇は深まり、朝は近づく」 **牛田 匡 牧師**

賛美歌 241番「来たりたまえわれらの主よ」(©著作権消滅)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

愛児祝福式(*) **牛田 匡 牧師**

誕生者祝福式(**) **牛田 匡 牧師**

献げ物(***)
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 **牛田 匡 牧師**

後奏 **アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)**

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

** みんなで11月生まれの方(と今年度11月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

*** 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} マタイによる福音書 24章 42, 44節

⁴²だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が来られるのか、あなたがたには分からないからである。

⁴⁴だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。

クランツ点灯のことば

神様、今日から私たちはアドベント、イエス様のお誕生を待ち望む季節を過ごそうとしています。どうぞ今年のクリスマス、みんなと一緒に心を込めてイエス様のお誕生をお祝いすることができますように。そのような願いを込めて、一本目のろうそくを灯しました。どうぞ、イエス様が私たちのもとに来られますように。

聖書 ローマの信徒への手紙 13章 8-14節

⁸互いに愛し合うことのほかは、誰に対しても借りがあつてはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです。⁹「^{かんいん}姦淫するな、^{ころす}殺すな、^{ぬすむ}盗むな、^{むさぼ}貪るな」、そのほかどんな^{いまし}戒めがあつても、「^{りんじん}隣人を自分のように愛しなさい」という言葉に要約されます。¹⁰愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。

¹¹さらに、あなたがたは今がどんな時であるかを知っています。あなたがたが眠りから覚める時がすでに来ています。今や、私たちの救いが、初め信じた時よりも近づいているからです。¹²夜は更け、昼が近づいた。だから、^{やみ}闇の行いを脱ぎ捨て、^{おこな}光の武具を身に着けましょう。¹³日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。^a「^{でいすい}馬鹿騒ぎや^{いんらん}泥酔、^{ほうとう}淫乱や^{あらそ}放蕩、争いや^{ねた}妬みを捨て、¹⁴主イエス・キリストを着なさい。欲望を満足させようとして、肉に心に向けてはなりません。

(脚注 a：別訳「酒宴」)

《先週のメッセージより》11月22日 収穫感謝（降誕前第5主日）礼拝

メッセージ「まず『小さい者』を大切に」より

牛田匡牧師

聖書：マタイによる福音書 25章 31-46節

日本では、人は死んだら「閻魔様」によって生前の罪が裁かれるという考えがありますが、そのような考えは世界中で昔からありました。今回の聖書のお話もそうです。このお話は「最後の審判」について書かれている話だと理解されて来ましたが、しかし、このお話は実際に約2000年前の歴史の中を生きられたイエス様が、そのまま語られたお話かという、どうもそうではなさそうです。実際にイエス様と出会い、その言葉と振る舞いに接した人々は、そのお話が心に残っていたのでしょ。それが多くの人たちの口伝えによって伝承され、イエス様の死と復活の何十年後に文字に書かれて編集されました。ですからたくさんの尾ひれも加わっていたはず。そのように考えてみた時、このお話が伝えている内容、イエス様が語られたことの中心は何だったかという、それは「その最も小さな者にしたことは、私にしたことなのだ」という言葉なのではないかと思。インドのマザー・テレサも、この言葉を神様からの語りかけとして聞いたと言われて。日本コイノニア福祉会の始まりも、この聖書の言葉でした。恐らく、今日のキリスト教福祉施設の多くが、この言葉に原点を持っているのではないでしょか。

「その最も小さな者にしたこと」として、イエス様、王様は言われました。「私が飢えていた時に食べさせ、喉が渴いていた時に飲ませ、よそ者であったときにのけ者にせず仲間に入れ、裸のときに着せ、病気で弱っている時に世話をし、牢にいた時に訪ねてくれたからだ」……。これら一連のことは、有り余っている人から、何も持たない人に対して行われたことではありません。ろくに何も持っていなかった人たちが力弱い者同士でありながらも、「放っておけない」という一心で食べ物や飲み物、着る物や持ち物を分け合い、仲間となりました。そのような人々の自然な連帯を見て、イエス様は「そこに私も一緒にいる」「その一人にしたことは、私にしたことなんだよ」と言われたのだと思。います。

イエス様が言われたのは「上から目線」の「してあげる」ことではありませんでした。まず私たちの身近にいて、後回しにされている人たちという「小さな者」たちを大切にすること。イエス様は、その人たちとの横の関係での自然な交わり、分かち合いの中に共にいて下さいます。「まず『小さな者』を大切に」……。その「小さな者」と共におられる神様からの力を頂きながら、与えられている様々な実りの恵みを分かち合うために、私たちは今日も導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (11月22日)

礼拝出席 大人7名 子ども1名 献金 大人6,000円 感謝

礼拝後に釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行い、大人6人と子ども1人で130個のおにぎりを作って、収穫感謝礼拝に献げられたお野菜と一緒に、釜ヶ崎にお届けすることができました。どうもありがとうございました。

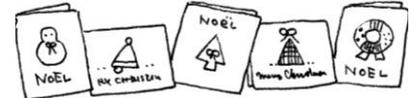
◎次週 2020年12月6日(日) ^{アドベント}待降節 第2主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 59章 16, 20節

聖書 マタイによる福音書 13章 53-58節

メッセージ「どうしてこんな所に生まれたのか」牛田匡牧師

賛美歌 242番 (©JASRAC) 236番 (©JASRAC) 244番 (©JASRAC)



待降節に入り毎週アドベント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。小さい子どもたちもどうぞご一緒にご参加ください。また礼拝の中でユーカリストを行う予定です。なお礼拝はインターネットで中継配信いたします。

礼拝後に12月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。役員ではない方も陪席自由ですので、教会についてご一緒に考えてくださる方がいらっしゃいましたら、どうぞご出席ください。

◎お知らせ

- ・本日より「クリスマス献金」を12/20まで集めます。献金先は、昨年度から引き続き「関西学院大学神学部」「日本基督教団開拓伝道支援」「日本基督教団在日韓国朝鮮人問題活動センター」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人・神戸国際支援機構」「ペシャワール会」「釜ヶ崎いこい食堂(おにぎり基金)」の予定です。
- ・例年11月末に開催されていた大阪教区教会婦人会連合の「クリスマスバザー」は、新型コロナウイルス感染症の収束のめどが立たないために中止となりました。(同会主催の2月の信徒講座も中止です)
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、教会では引き続き、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、ご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・12月10日(木)9時半~11時半、釜ヶ崎・いこいの家にて本田哲郎神父と「聖書を読む会」があります。テキストは本田哲郎訳「ペトロの手紙2」と「聖書の話あれこれ」でコピーが配布されます。参加費は無料で、希望者がカンパをしています。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
12/6	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	聖餐式・教会を考える会
12/13		水谷牧師?	(第二好意の庭・クリスマス会)
12/20		牛田牧師	クリスマス礼拝・聖餐式
12/27		牛田牧師	誕生者祝福式

